

投稿規定

2006年3月15日改訂

論文募集と採否

1. 論文等の内容

原著，総説，報告，症例報告，短報，機器紹介，論文記事（二次掲載），その他，など，自己血輸血の臨床，研究に貢献しうるものとします。

なお，ヒトを対象とした研究は世界医師会総会で採択されたヘルシンキ宣言を遵守して行われたものであること，また，動物を扱った研究は総理府告示「実験動物の飼育及び保存等に関する基準」に基づいた各施設のガイドラインに則って行われたものであることが必要です。

2. 投稿資格

原著または症例報告でご投稿される場合，全ての著者が会員であることを原則とします。他誌に掲載されたもの，あるいは投稿中のものは受け付けません。（二次掲載 acceptable secondary publicationについては巻末を参照ください。）

3. 論文の採否

編集委員の査読を経て，編集委員会の協議のうえ採用させていただきます。なお，論文体裁の統一をはかるため，編集委員会の責任において，多少，字句・図・表の訂正を行うことがありますのであらかじめご了承ください。

論文の送付

4. 送付内容

以下の表題頁，論文，図表をすべてコンピューター入力した上で，それぞれ別のファイルとして編集事務局へ送ってください。イメージ確認のために，元ファイルとともにすべてのファイルをPDF化したもの，あるいはハードコピーも送ってください。なお，本文中への図表の挿入はご遠慮ください。

1) 表題頁 (MS-Word)

- 1) 論文種別（原著，総説，報告，症例報告，短報，機器紹介，論文記事，その他）
- 2) 表題・著者名・所属施設名・3語以内のキーワード（すべて日本語・英語併記）
- 3) 原稿内訳（本文の頁数，図の枚数，表の枚数）
- 4) 筆頭著者の氏名，所属施設名，住所，電話番号，fax 番号，e-mail アドレス

2) 論文 (MS-Word)

本文，文献，図表のタイトルと説明（legend）

3) 図表 (MS-Word，パワーポイント，エクセル，JPEG など)

5. 送付方法

以下の1) 2) 3) のいずれかとします。フロッピーディスクの使用はご遠慮ください。

- 1) MS-WordなどのファイルおよびすべてのファイルをPDF化したものを双方でメールで送信
- 2) MS-Wordなどのファイルをメール送信の上，すべてのファイルのハードコピーを郵送
- 3) CD-ROMおよびそのハードコピーを郵送

6. 原稿の送り先

原稿は下記までメール若しくは郵便でお送りください。

〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1
帝京大学医学部整形外科医局内 日本自己血輸血学会編集事務局
E-mail : editorial@jsat.jp (日本自己血輸血学会編集事務局)

執筆要綱

7. 論文記載上の注意

- 1) 本文の文章の配列は(1)はじめに(序文),(2)対象・方法(もしくは方法),(3)結果,(4)考察,(5)結語,(6)文献,(7)図表のタイトルと説明(legend)とします。
- 2) 論文は口語体,当用漢字,現代かなづかいとし,改行の際は先頭の1文字をあけてください。文体は「です・ます」調ではなく,「である」調に統一してください。
- 3) 用語には日本輸血学会認定の用語(日本輸血学会雑誌 40(4):会告 1~17,1995)を用いてください。
- 4) 文中の外国語は当該国語に準じてください。ただし日本語化したものなどはカタカナ,または日本語を用いてください。
(例) catheter → カテーテル, cardiopulmonary bypass → 人工心肺
- 5) 薬品名は一般名とし,慣用されているものはカタカナをご使用ください。
(例) リドカイン,ジギタリス,ヘパリン
商品名の方が理解されやすい場合には以下のごとく品名の右肩に®を付してください。
(例) isosorbide dinitrate → ニトロール®
- 6) 数字は算用数字を用い,度量衡の表示はCGS単位を用いてください。
- 7) お送りいただいた図・表はすべて縮小されます。したがって,縮小されて十分読みうる文字,図形などで構成されていることにご留意ください。なお,おあずかりしました図,表,写真などは原則としてお返しいたしません。

8. 論文の長さの制限

- 1) 原著:原則として刷上り10頁以内
- 2) 総説:原則として刷上り12頁以内
- 3) 報告,症例報告,機器紹介,その他:原則として4頁以内

9. 文献の記載法

- 1) 引用文献は必要最小のものに限り,20編程度としてください。
- 2) 引用文献は本文中に出てくる順序で,本文の末尾にまとめて記載してください。本文中の該当部には番号,1),2),3)・・・を右肩に付してください。
- 3) 文献の書き方

(1) 雑誌の場合: 著書名(first authorを含め3名まで,以下“他”または“et al.”)論文名・雑誌名(略号はIndex Med.採用のもの)巻:頁(初めと終わりの頁),発行年とします。

(例) Schaff HV, Haver JM, Bell WR, et al.: Autotransfusion of shed mediastinal blood after cardiac surgery (A prospective study). J Thorac Cardiovasc Surg 75: 632-638, 1978

(2) 書籍の場合：例aあるいは例bとします。

(例a) 著者名（雑誌の場合と同じ）：書籍名，発行者，発行地，発行年，総頁数

尾浦正二：癌性骨疼痛に対するパミドロネート療法，金原出版，東京，1997，pp130

(例b) 著者名（雑誌の場合と同じ）：論文名・編集者名，書籍名，発行者，発行地，発行年，頁（初めと終わりの頁）

Bell WR: Hematologic aspects of autotransfusion. In: Autotransfusion

Elsevier/North-Holland, Hauer, J. M., Thurer, R. L., Dawson, R. B. ed., New York · Amsterdam · Oxford, 1981, pp68-72

別刷

10. 別刷希望者に対し，最低30部から実費で提供します。著者校正の際に必要な部数を記入ください。

著作権

11. 本誌に掲載された論文の著作権は日本自己血輸血学会に帰属するものとします。

12. 本誌に掲載された論文はインターネットで公開されます。

13. 雑誌および電子引用に際して得られる許諾料は日本自己血輸血学会の収入とします。

二次掲載について

14. 日本自己血輸血学会では，他の言語ですでに掲載された論文（オリジナル論文）を和文で二次掲載することは二重投稿ではなく正当なもの(acceptable secondary publication)と認めます。

以下の点を遵守ください。その場合は，論文記事（二次掲載）として投稿ください。

- 1) すでに掲載された論文であること。
- 2) 著者はオリジナル論文の編集者から当学会誌への二次掲載許可書を得ていること。
- 3) 論文記事として投稿する際に，前述の二次掲載許可書とオリジナル論文のコピーあるいは別刷りを添付すること。
- 4) オリジナル論文と論旨を変えないこと。執筆者は同一（順不同）であること。
- 5) 二次掲載版のタイトル・ページの脚注に，その論文の全体若しくは一部がすでに掲載されている旨を明記し，さらに初出文献も示すこと。
例：この論文記事は，「・・・」に最初に報告された研究に基づくものである。
- 6) 文献を記載する際，日本語文献は日本語で表記すること。

以上

「自己血輸血研究会」抄録投稿掲載について

「自己血輸血」誌では，各地区で行われている自己血輸血研究会，自己血輸血談話会などの発表会抄録を掲載いたします。プログラムあるいは抄録（400字以内）の掲載を希望される場合は，原稿をメールあるいはCD-ROMで送付してください。紙媒体はご遠慮ください。「自己血輸血」第18巻第2号pp242-248を参照ください。

なお，掲載料は不要です。詳細については，本誌編集事務局 (editorial@jsat.jp) までメールでお尋ねください。